

トイレ診断士達のブログ!! 特選集

日々トイレで戦うトイレ診断士たちの日常を、時にはまじめに、時にはおかしく綴った「トイレ診断士達のブログ」。特に人気の高い記事をかわや版でもお届けします。
<http://www.toreshindan.com>

2024年1月9日(火)掲載
波自賀村跳男(はじかむらはねお)



おはようございます。

波自賀村跳男(はじかむらはねお)です。昨年2023年11月10日(金)、渋谷区で行われた「SOCIAL INNOVATION WEEK」に参加してきました。渋谷のTHE TOKYO TOILETプロジェクトのガイドを、3D Viewを使い、日本財団さんと一緒にご紹介してきました。

驚いたのは、THE TOKYO TOILET公式ホームページに使用されている3D Viewです。自宅にいながら、トイレの様子を立体的に確認することができます。役所広司さん主演の「PERFECT DAYS」で登場した全ての公共トイレが自宅を確認できます。

ぜひ、気になったトイレをチェックして頂ければ嬉しいです。それでは。

ビジネスネーム豆知識… 私たちはトイレにちなんだビジネスネームを持っています。「播磨国風土記」にある神話で、神々が「粘土を担ぐのと、糞を我慢するのと、どちらが先に行けるか」という我慢比べをしたところ、我慢しきれずに用を足し、それを笹が「はじいた」ので、その地を「波自賀村」と呼ぶようになったという逸話があります。なんと面白い神話から名付けられたビジネスネームです。



この度、トイレ診断士達のブログは終了することとなりました。これまでの投稿は引き続き <https://nobuta.way-nifty.com/shindanshi> でご覧いただけます。15年間にわたりご覧いただきありがとうございました。

トイレ診断士 3人

佐藤満春のトイレな話 シーズン2

I LOVE TOILET! I LOVE TOILET! I LOVE TOILET!

THE TOKYO TOILETと公共トイレの未来

佐藤 満春 (さとうみつはる)
お笑いコンビきんぎょの片割れ。趣味のトイレ好きが広がりをみせ、2011年11月電子書籍「佐藤満春のトイレ公論」を発表。自らもトイレ掃除に参加するなど自他共に認めるトイレ好きである。名誉トイレ診断士



意識改革も継続していければいいのかなと思います。伸孝さん、対談ありがとうございました。

佐藤満春さんと戸野伸孝さんが公共トイレの未来について語り合った対談は日本財団が発信するウェブマガジン「日本財団ジャーナル」で読むことができます。

<https://www.nippon-foundation.or.jp/journal>



日本財団の「THE TOKYO TOILET」プロジェクトの総括として、株式会社アメニティ代表取締役の戸野伸孝さんと対談させていただきました。

長年「くさい・汚い・暗い・怖い」イメージが付きものだった公共トイレを快適に、かつ、性別・年齢・障害を問わず、誰もが使用できる場所にするを目指して2018年に始まったプロジェクトです。渋谷区(東京都)、大和ハウス工業、TOTO、一般財団法人渋谷区観光協会の協力のもと、世界で活躍する16人の建築家やデザイナーが手掛けたデザイン・機能面共に優れた公共トイレが区内17カ所に設置されたのは皆さんもうご存じだと思います。私がお世話になっている日本トイレ協会の小林純子先生が設計したトイレもあります。

このプロジェクトの素晴らしいところは、清掃やメンテナンス部分にも力を入れたことです。伸孝さんも対談でお話されましたが、1日5~7回排泄する人間がトイレを使用する以上、トイレは毎日劣化していきます。当たり前ですがトイレはメンテナンスフリーではありません。伸孝さんは「歯磨きと一緒に」だと例えられていましたが、まさにそうだと思います。THE TOKYO TOILETは新しくきれいでおしゃれなトイレを作るだけでなく、そんな「トイレに関するメッセージ」も伝えることができたプロジェクトです。THE TOKYO TOILETの「公共トイレを観光資源にする」という目的もある種、目標は達成したようにも思いますし、その意識を今後「定着させること」も大事になっていくと思います。是非皆さんもこのプロジェクトの今後をしっかり見守りつつ、我々の

編集 後記

私の住む地域でも今年から水道料金が値上げされます。蛇口をひねったらいつでもどこでもきれいな水が出てくる生活は、この先当たり前じゃなくなるかもしれない…なんて、記事を書きながら少し暗い気持ちになってしまいました。しかし、持続可能な未来のために、水も大量生産大量消費という時代ではなく、これからはダウンサイジングした生活様式になっていくのかなあと感じました。(セルベッチオ中嶋)

Information!

今年4月からラジオ日本の新番組「アメニティルーム」が始まりました。パーソナリティの宮川賢さんがゲストをお招きするトーク番組です。トイレ診断士も出演しています。

アメニティルーム

ラジオ日本(AM1442kHz) 毎週土曜日深夜27:30~(日曜早朝3:30~)

あなたの町のアメニティネットワーク

アメニティ本部フリーダイヤル ☎0120-57-1110



特集

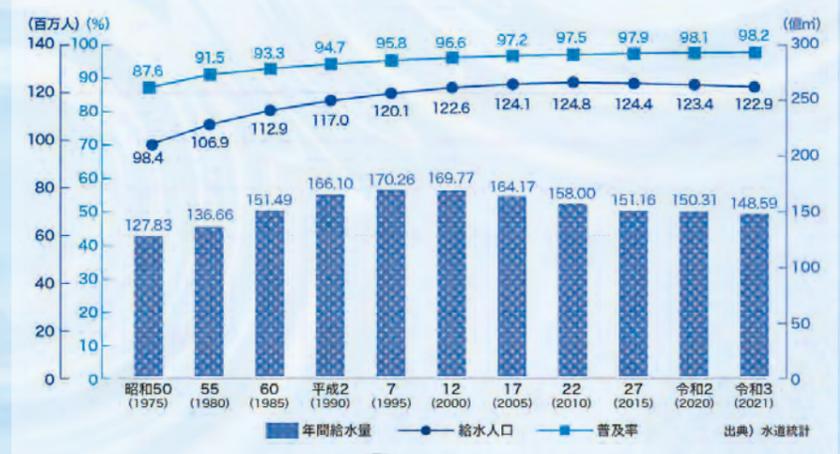
どうなる? これからの水道

トイレとは切っても切り離せない「水道」。今回は水道の未来について考えてみたいと思います。

今後の水道料金は?

私たちの生命や生活に欠かすことのできない水ですが、最近水道料金が上がったと感じることはありませんか?例えば福岡県飯塚市では2022年に35%、岡山県岡山市では2024年4月に20%も水道料金が値上げされました。その他にも全国的に2020年以降150以上の自治体で水道料金が値上げされています。

先ごろ、民間の調査団体EY Japanと一般社団法人水の安全保障戦略機構は25年後(2046年)の水道料金を試算し、「人口減少時代の水道料金はどうなるのか?」と題した報告書を発表しました。その報告書によると、2046年度までに全国の水道事業体の96%が水道料金の値上げが必要になり、値上げ率は平均で48%と推定されています。また、人口減少率が高い事業体や人口密度が低い事業体では値上げ率が高くなる傾向があり、料金格差は現在の8倍から20.4倍に拡大する見込みです。



水道料金が上がる理由

水道事業は地方公営企業法という法律に基づいて独立採算制となっています。つまり水道事業に必要な経費は基本的に税金ではなく、私たちが支払った水道料金で賄われています。ではなぜ水道料金が上がってしまうのでしょうか?それは一言で言えば「水道

料金収入の減少と支出の増加」によるものです。

総務省によると、水道料金収入は2004年度をピークに減少しています。これは人口減少によるものや節水技術の進歩が原因です。高度経済成長期には水洗トイレの普及などで増加していた生活用水の使用量は、節水型のトイレ、家電などが普及するにつれ1998年ごろをピークに減少に転じています。店舗や事業所などでも厨房に節水システムが導入されたり、トイレの手洗いが自動水栓になったり、知らず知らずのうちに節水になるシステムに社会が変化してきました。

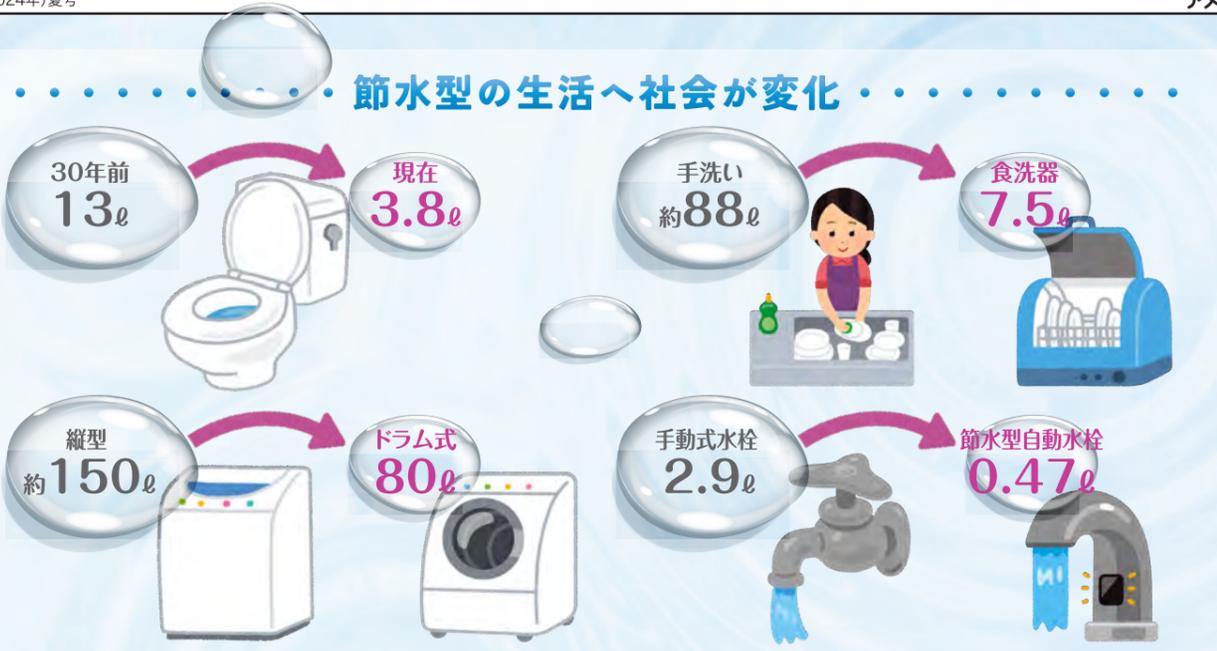
2ページに続く▶

水道料金値上げ率 **48%**

値上げの必要な自治体 **96%**

今後水道料金の値上げが予定されている自治体例

自治体・事業体	値上げ時期	平均値上げ率
新潟県柏崎市	2024年 7月	27.5%
沖縄県企業局	2024年10月	18.2%
神奈川県営水道	2024年10月	16.0%
兵庫県神戸市	2024年10月	14.2%
埼玉県羽生市	2024年12月	22.0%

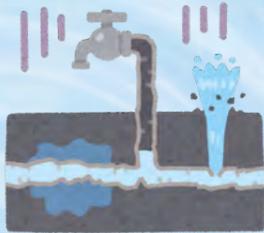


節水型の生活へ社会が変化

それに対して、水道事業における支出は増加しています。高度経済成長期に多く埋設された水道管は法定耐用年数の40年を過ぎ老朽化が進み、破損事故が相次いでいます。今年5月にも兵庫県神戸市で突然マンホールから水が噴き出す事故がありました。なぜそうなる前に交換できないのかと思いますが、交換工事が急がれてはいるものの現在敷設されている水道管の総延長は約74万km、地球18.5周分にもなり、その約2割にあたる約15万kmが耐用年数を超えています。それに対して、2020年度に更新された水道管は4811kmにとどまっています。

水道管1kmを交換するのに2億円かかるとも言われており、水道技術者の減少も相まって交換工事が進んでいない現状があります。

水道管の破損事故は年間2万件以上!!



日本の水道管の総延長は18.5周分!!



簡単ではない水道料金値上げ



それならば水道代値上げもやむなしといったところですが、電気代やガス代の値上げのように簡単にはいかない事情があります。人々の生命と生活に不可欠な水を供給するという水道事業の使命から、水道法の第1条には「清浄にして豊富低廉な水の供給」とうたわれています。また水道料金は自治体の議会の承認を経て定められるため、値上げという市民に不利益のある施策は議会に通りにくく、すぐに値上げというわけにはいかないのです。水道事業が独立採算制とはいえ公営企業であるだけに、市民がその料金の決定や経費に無駄がないのかなど、目を光らせていかなければならないのは言うまでもありません。しかしながら、水道料金値上げの先送りは将来の世代にツケを負わせることになり、世代間格差が懸念されています。

解決策はあるのか

現状でも組織再編やIT化、水の使用量に応じた水道施設の統廃合、ダウンサイジングなど経営改革の取り組みがなされています。また、2019年の水道法の改正により、複数の自治体の水道事業体が統合して水道事業の効率化を図る「広域

化」という方法も具体的に検討されています。しかし水道料金が安い自治体と高い自治体が統合する場合は不公平感が生まれるなどの課題もあります。それ以外にも、過疎化地域には新しい水道管は敷設せずに給水車が貯水タンクに届ける「運搬給水」という方法や、井戸水や雨水を浄化して利用したりするなど、既存の水道設備に頼らずに水を確保することも考えていかなければならないのかもしれない。私たちは水道を利用し料金を払う立場から、こういった背景を踏まえて今後25年、50年後の水道はどうなっているのか考えながら水道行政に関心を持っていかねばならないのではないのでしょうか。



IBD(炎症性腸疾患)を知っていますか? 『I know IBDプロジェクト』

Toilet Topics

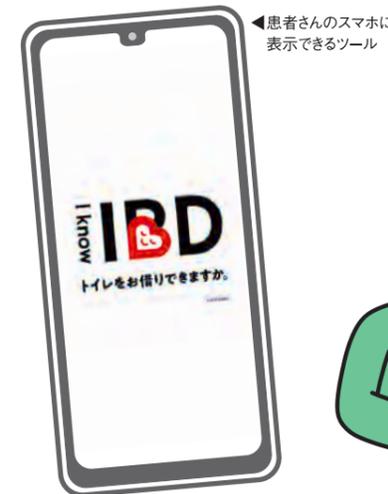


「外出先で急にお腹が痛くなり急いでトイレを探したが、トイレが見つかるまで気が気ではなかった」誰もが一度は経験することではないでしょうか。そんな起こってほしくない切迫した状況が頻繁に起こる病気があります。「IBD(炎症性腸疾患)」これは潰瘍性大腸炎とクローン病の総称で、大腸や小腸などの消化管に慢性の炎症を引き起こし、下痢や腹痛を伴う原因不明の難病です。国内の推計患者数は2つの疾患の合計で約29万人と指定難病の中でも多く、これから社会で活躍する10代から20代での発症が多く報告されています。発症す

ると食事の制限やトイレの回数の急増など日常生活に影響を及ぼしますが、見た目ではわかりにくく、病気や症状について周りに伝えることが患者さんは心理的にも大きな負担になっています。

そんな患者さんの悩みに寄り添おうと、製薬会社のアブヴィ合同会社が2022年に始めたのが「I know IBDプロジェクト」です。IBDの患者さんにトイレを貸し出してくれる店舗や企業を募り、「ご遠慮なくどうぞ」と書かれたプロジェクトのロゴのステッカーを掲示することで患者さんの外出時のトイレの不安を軽減する取り組みです。借り

ることのできるトイレはサイト上の地図データでも確認することができます。患者さん向けには「トイレお借りできますか」とスマートフォンに表示できるツールも用意、借り際には病気のことを説明しなくても良い工夫がなされています。



患者さんのスマホに表示できるツール

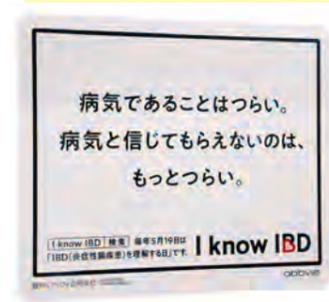
急な腹痛でコンビニのトイレに駆け込んだら店員さんに怒られてしまいました。謝罪して病気のことを説明してもわかってもらえずショックでした。



仕事に支障が出るほどなのに「ただお腹が痛いだけ」と言われてしまいます...



5月19日の「IBDを理解する日(世界IBDデー)」に合わせて、IBD患者さんに対してより多くの理解やサポートへつながることを目指し、JR京浜東北・根岸線と東京メトロ東西線でそれぞれ2週間にわたりトレインジャック広告が掲載されました。



車両全体がI know IBDプロジェクトでいっぱい



2024年5月現在、協力企業や店舗は、薬局やホテル、美容室、自動車販売店など131社2885店舗にも広がっています。このプロジェクトの目的は、患者さんの外出時の不安軽減はもちろん、ステッカーが少しでも人々の目に触れることでIBDが社会全体に認知、理解されることにあります。このプロジェクトに賛同しご協力いただける店舗や企業の方は、プロジェクトホームページの参加申請フォームからお申し込みいただけます。
<https://www.iknowibd.com/prj/>